



一歳  
如学

—令和3年度後期短期研修の様子から—

## 一人一人の子供 を主語にする 学校教育へ

想い



「取りかかってみる」

鹿児島県総合教育センター  
次長 荒田 明彦

仕事を立て込んでくると、いろいろあだこうだと思ひ悩むばかりで一向にはかどらない。その間に他の仕事も舞い込んできて、挙げ句の果てはお手上げ状態。そんな時はとにかく少しでもいいから「取りかかってみる」、あるいは少しだけ「人をお願いしてみる」。そうすると不思議と気分が楽になって、気が付けばあれよあれよと物事が進んでいく。そういった経験が皆さんにはありませんか。

ところで、新型コロナウイルス感染症の影響で、同じ場所に集まって様々な情報交換を行うという場面が少なくなりました。当教育センターの事業でも、感染症への対応として、研修講座等の時間短縮や会場の分散、オンラインやオンデマンド配信により実施若しくはやむを得ず中止となったものもありました。最近になってやっと集合しての研修等が実施できるようになり、参加者からは、同じ場所に集まり、その場の雰囲気、風の匂いや空気感などを共有しながら、コミュニケーションがとれて良かったとの声が多く聞かれます。

特に新規採用の教職員の皆様にあっては、同期採用の方と直接会って、いろいろと日頃の思いを語り合いたかったと感じている方が多いのではないのでしょうか。

教育センターでは、オンラインでの研修等も引き続き活用しながら、教職員の皆様の研修機会の確保と負担軽減といった観点を踏まえ、集合による研修も含めて効果的な実施方法を今後も検討していくこととしています。

学校では、感染症にも配慮しつつ、ICTの活用など今後も様々な業務を推進していかれることと思いますが、冒頭に述べたような状況になりそうな時は、とにかく少しでもいいから「取りかかってみる」。人との交流が希薄になりがちな昨今の状況ではありますが、上司や同僚などにいつもより「少し多めに頼って」みてもいいかもしれません。教育センターでもGIGAスクール構想に係る「土曜講座」など、オンラインでの参加が可能な講座も開催していますので、「取りかかってみる」気持ちで気軽に参加していただけたらと思います。

と言いつつ、「取りかかってみる」を自分に言い聞かせながら、人をお願いして過ごしている今日この頃です。

# 「令和の日本型学校教育」の構築に向けて



中央教育審議会答申においては、2020年代を通じて実現を目指す新しい時代を見据えた学校教育「令和の日本型学校教育」の姿として、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない個別最適な学びの実現や、これまでも重視されてきた協働的な学びとを一体的に充実することを目指した方向性が示されています。

当センターではこれからの時代を生きる児童生徒に必要な資質・能力の育成につながる研究を各研究提携校で進めています。今年度すでに実施した提携校5校の研究公開の様子を紹介します。2校は2月に実施予定です。



## 研究提携校研究公開

鹿児島市立山下小学校



- ・令和3年11月12日（金）
- ・集合研修（授業、授業研究、講演）
- ・「自分の問い」づくり、学び合い、振り返りなどの場面で学びの価値を実感する研究発表

奄美市立宇宿小学校



- ・令和3年10月15日（金）
- ・集合研修とオンライン研修
- ・自ら学び自ら考える子供の育成を目指して複式学習指導で実施
- ・所長挨拶は当センターからオンラインでの配信

鹿児島市立吉田南中学校



- ・令和3年10月20日（水）
- ・集合研修（授業、授業研究、講演）
- ・生徒が自らの学習のエージェント（一人一人の生徒が学びの主体となること）となる授業デザイン

県立松陽高等学校



- ・令和3年11月5日（金）
- ・集合研修（授業、授業研究）
- ・教科等横断的な視点からの学びの実現を目指した研究発表

県立出水養護学校



- ・令和3年12月1日（水）から12月14日（火）までオンデマンド（動画）配信による公開【小学部・中学部・高等部】
- ・研究授業を5台のカメラ等で撮影・編集

## オープン・スクールin鹿屋小・中学校の開催 （予告）令和4年2月10日（木）

教育センターの提携校となって4年目となります。

【鹿屋小】豊かな未来を切り拓く子供の育成  
授業：国語、算数、外国語、特別支援教育  
子供の学びの事実に基づいた授業研究の在り方を提案します。

【鹿屋中】主体的・対話的で深い学びに向かう集団づくりー生徒と共に取り組む授業改善と学力定着を目指してー

授業：社会、数学、外国語

生徒会活動等を含め、主体的な学びについて一緒に考えます。

# 高等学校 学習評価



高等学校及び特別支援学校高等部においては、新しい学習指導要領が令和4年度から年次進行で実施されます。

「カリキュラムセンター」である教育センターでは、学校教育に関する課題の解決に向けて、相談したり調べたりすることができるよう、様々な教育資料を準備し、Webサイトに掲載しています。今回「教育情報提供（カリキュラムセンター）」の「学習評価」に「高等学校」のページが新たに加われました。どうぞご覧ください。

## 高等学校 学習評価について

### はじめに

学習指導要領（平成30年告示）が令和4年度入学生から実施になります。それに伴い、新しく3観点の観点別評価が導入されます。このページでは、高等学校の評価について扱います。

下記は、30分程度で変更の概要を説明したビデオです。必要に応じて、研修等でお使いください。



ダウンロードしてお使いいただく場合

下を右クリックして、「名前を付けてリンクを保存」を選んで下さい。

- 動画ファイル（約750MB）
- パワーポイント資料（約17MB）

現在総合教育センターでは、各学校の実態に合わせた研修等を行っています。必要があれば、教科教育研修課までお問い合わせください。

「高等学校 学習評価について」のWebページの一部

### 【Webページの内容】

- ・ 動画（30分）の解説
  - ・ パワーポイント資料掲載
  - ・ 高等学校学習評価の「指導資料」掲載
  - ・ 生徒・保護者への「通知文書案」掲載
- ※ 全てダウンロードできます。



個人の研修に！  
校内研修に！

## 指導資料（評価関係）

評価の観点の変更に伴い、以下の指導資料を発行しています。必要に応じて参考にしてください。上から順に、**概要**（第39号）、**校内の規定案**（第42号）、**よくある質問の回答**（第43号）について扱っています。

- 第39号 高等学校における学習評価の改善・充実に向けて（クリック）

学習評価の改善・充実についての基本的な方向性について確認し、各学校が取り組むべき事柄等について示します。

- 第42号 高等学校における学習評価の改善・充実に向けてⅡ（クリック）

学習評価の円滑な実施に向けた各教科・科目の学習評価に関する規定（案）について示します。

- 第43号 高等学校における学習評価の改善・充実に向けてⅢ（クリック）

現在、学習評価に関する様々な質問が寄せられています。よくある質問に対する回答を示すことを通じて、学習評価に関する基本的な考え方を確認します。

- 生徒・保護者への通知文書案はこちらをクリックください。



**Q 1** 自分の担当する教科の3観点がよく分からず不安です。まず何から始めればよいですか。



**A 1** 各教科等の「知技」、「思判表」については、学習指導要領（平成30年告示）の「内容」及びその解説に掲載されていますので、まずは学習指導要領及び解説を参照してください。

また、「知技」、「思判表」に加えて「態度」についても、「参考資料」にどう評価すべきか、事例を含めて掲載されています。ぜひ参照してください。

Webページには、高等学校の学習評価に関する基本的な考え方についてQ&A形式等で示しています。「指導資料 高等学校における学習評価の改善・充実に向けてⅢ」参照

指導資料 学習評価の一部

高等学校 学習評価のWebページは、二次元コードから。



問合せ先 教科教育研修課 ☎ 099-294-2313

## 小・中学校学習評価のWebページ

### 学習評価Q&A

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>国語</li> <li>社会</li> <li>算数</li> <li>理科</li> <li>生活</li> <li>音楽</li> <li>図工</li> <li>家庭</li> <li>外国語</li> <li>外国語活動</li> <li>総合的な学習の時間</li> <li>特別活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育</li> <li>国語</li> <li>社会</li> <li>数学</li> <li>理科</li> <li>音楽</li> <li>美術</li> <li>技術・家庭（技術分野）（家庭分野）</li> <li>外国語</li> <li>総合的な学習の時間</li> <li>特別活動</li> </ul>

### 学習指導要領解説Q&A

小学校	中学校	高等学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>総論</li> <li>国語</li> <li>社会</li> <li>算数</li> <li>理科</li> <li>生活</li> <li>音楽</li> <li>特別の教科・道徳</li> <li>道徳</li> <li>家庭</li> <li>外国語</li> <li>外国語活動</li> <li>総合的な学習の時間</li> <li>特別活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総論</li> <li>国語</li> <li>社会</li> <li>数学</li> <li>理科</li> <li>音楽</li> <li>美術</li> <li>特別の教科・道徳</li> <li>保健体育</li> <li>技術・家庭（技術分野）（家庭分野）</li> <li>外国語</li> <li>総合的な学習の時間</li> <li>特別活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総論</li> <li>国語</li> <li>公民</li> <li>数学</li> <li>理科</li> <li>総合的な学習の時間</li> <li>保健体育</li> <li>芸術</li> <li>体育</li> <li>英語</li> <li>英語活動</li> <li>外国語</li> <li>外国語活動</li> </ul>

**幼稚園教育** ■ 「幼稚園教育」の名称をクリックすると「幼稚園教育要領解説Q&A」が表示されます。  
**特別支援教育** ■ 「特別支援教育」の名称をクリックすると「特別支援教育要領解説Q&A」が表示されます。

学習指導要領解説Q&AのWebページ

小・中学校の「指導と評価の一体化」に関する学習評価についての解説をQ&A形式で掲載しています。参考にしてください。

学習指導要領の内容についても校種や教科毎にQ&A形式で解説しています。併せてご活用ください。

学習評価Q&AのWebページ

学習指導要領解説Q&A、学習評価Q&AのWebページは、二次元コードから。



# 調査研究発表会 オンライン実施

令和4年1月28日(金) 10:30~16:00



- 独立行政法人教職員支援機構理事長 荒瀬 克己 氏 による講演 (オンデマンド配信)  
演題「鹿児島県における『令和の日本型学校教育』の構築に向けて(仮)」
- 最新の調査研究の成果を、理論と実践の両面から学べます。
- 終日オンラインによる研修となります。(午前、午後の受講も可能)
- ※ 申込みについては別途案内します。  
参加申込み締め切り後に、決定通知 (ID, パスコード) の返送をします。

申込みは二次元コードから。  
【Web申込み期間】  
12/20(月)まで



## 《 日 程 》

10:00 10:30 10:40 11:00 11:30 12:00 12:10 13:10 13:40 15:50 16:00

受 付	全 体 会					昼 食 等	受 付	分 科 会		
	開 会 行 事	調 査 報 告 【 教 職 研 修 課 】	研 究 発 表 Ⅰ 【 情 報 教 育 研 修 課 】	研 究 発 表 Ⅱ 【 特 別 支 援 教 育 研 修 課 】	諸 連 絡 ・ ア ン ケ ー ト			・ 研 究 発 表	・ 事 例 発 表	・ 研 究 協 議

### 《全体会 各課研究主題》

調査報告【教職研修課】  
「教職員の連携協働力を高める取組一校内研修プランの作成と実践を通して」  
研究発表Ⅰ【情報教育研修課】  
「1人1台端末時代における授業デザイン『GIGAスクール構想』の実現による学びのイノベーション」  
研究発表Ⅱ【特別支援教育研修課】  
「校外における指導・支援の接続に関する研究一特別な配慮が必要な児童生徒に焦点を当てて」

### 《分科会》

第1分科会 国語科  
第2分科会 社会、地理歴史、公民科  
第3分科会 算数、数学科  
第4分科会 理科  
第5分科会 外国語活動、外国語科  
第6分科会 情報教育  
第7分科会 特別支援教育  
第8分科会 教育相談

問合せ先 企画課 ☎ 099-294-2312

教育センターでは子供の教育に関する相談を受け付けています。

## かごしま教育ホットライン24

いじめ・不登校・親子関係や特別支援教育に関わることに  
ついて、24時間いつでも相談に  
応じます。  
※相談対象は県内の幼児児童生徒及びその保護者、教職員等です。

電話番号  
0120-783-574  
0120-0-78310  
099-294-2200

## 教育センターでの対面相談

当センターでは、対面での来所相談を受け付けています。事前に電話での予約が必要です。(原則として保護者同伴です。)

月～金曜日  
午前8時30分～午後5時  
099-294-2788  
※祝日、年末年始を除きます。



鹿児島県総合教育センター  
所報「大原台171号」

〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862

TEL: 099-294-2311

FAX: 099-294-2309

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/

